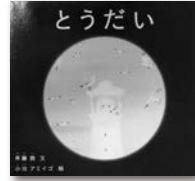




食べ物はやつにいちどだめはだめ〜作、小栗こぐり。

森の子ども図書コーナー No.158
交流サロンぼすと内



『どうだい』
斉藤倫／文
小池アミゴ／絵
福音館書店

岬にとんだいが一本建った。生まれ
たてのとんだいだ。夜になったら、あ
かりをくるくる、うみをぴかぴか。光
は船の目印になった。海を眺めている
と、はじめて出会うことばかり。とこ
もにぎやかな旅の途中の客船。ぴちぴ
ちはねる魚を運ぶ漁船。荷物をいっば
い積んだ貨物船。魚の群れや大きなく
じら。そんなとんだいに初めての冬が
やってきた。渡り鳥たちが、遠く旅を
してきたよその国の話を始める。よそ
の国を見たことがないとんだい。「あ
あ、ぼくはどこにも行けないんだ」
。そして二度目の冬が来た。その夜
は恐ろしい嵐になった。とんだいはど
うしたらいい?



／今月は12冊!／
※() 内作者名

星をつなぐ手 桜風堂ものがたり(村山早紀)
／犬猿県 絶対に負けられない県が隣に
いる! (矢野新一)／貝だくさんおにぎり(中
村美穂)／ひとつむぎの手(知念実希人)／
春は始まりのうた(小路幸也)／名探偵コナ
ンの10才までに覚えたい難しい言葉100(戸
谷辻夫)／にぎやかなおでん(犬飼由美恵)
／ちびまる子ちゃんのマナーとルール、整理
整頓(さくらももこ)／海とジイ(藤岡陽子)
／フーガはユーガ(伊坂幸太郎)／日本人が
意外と知らない三大〇〇(もぐら)／救済
SAVE(長岡弘樹)



「熱帯」
(森見登美彦／文芸春秋)

沈黙読書会で見かけた「熱帯」は、
なんとも奇妙な本だった。謎の解明
に動む学団に、神出鬼没の古本屋
台「暴夜(アラビヤ)書房」、鍵を
握る紺色のカードボックスと「部屋
の中の部屋」…。東京の片隅で始まっ
た冒険は京都を駆け抜け、満州の夜
を潜り、数多の語り手の魂を乗り継
いで、いざ謎の源流へ。



地元がヤバイと思ったら読む
「凡人のための地域再生入門」
(木下斉／ダイヤモンド社)

地元の将来を心配するすべての人
へ。地方衰退の「構造」とビジネス
による「変革手法」が、ストーリー
で一気にわかる! 山形を含め、全国
各地で400名以上の未経験者が実
践したノウハウを大公開。自分たち
の手で稼ぐ、それ以外の方法で再生
なんかあり得ない。必要なのは、才
能じゃない。「始める勇氣」だ。

山形大学の地域連携型サークル「Team道草」
道草だよりでは、彼らの町内での活動を紹介!
「金山町×大学生」で産まれる新たな可能性を模索します

道草便り Vol.10



「時代の変化を楽しみながら適応する」
今回は上台の天口さん
を取材しました。上台は
羽州街道や熊野神社、養
鯉に最適な坂があり、町
を見渡せる自然のいいと
こ取りをした地区です。
天口さんが小学生の頃は
神社にあったブランコや
川で友達と遊んだり、と
にかく外で遊んで自然と
適応力が付いたのだと
か。今は鯉の加工料理を
届けながら、上台地区長
の任期を終わろうとして
います。
天口さんご夫婦は、羽
州街道の整備や神社の掃
除やお祭りなど、みんな
が集まって「この地区を
守るんだ」という気持ち

◎取材した天口区長 ◎熊
野神社へと続く大きな鳥居

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四二四回

星川 きえ子
囲われて軒まで届く実南天
問われて少し間のをく花八っ手
岸 あき子
月冴えて雪の降る音聞えくる
珈琲の湯気白々と寒椿
高橋 洋子
藪柑子赤き実のぞく苔の庭
子に還り銀杏落葉を踏み遊ぶ
鵜沼 よし子
実南天永久にあれかし身の至福
妣偲び小さき冬着翳しけり
伊藤 敏子
数え日や赤丸多きカレンダー
新年を迎ふ手造り予定表
阿部 サタエ
牡蠣鍋や子離れせよと言われけり
冬木立日差し余つてあたりけり
荒屋 阿部 勝子
湯豆腐を温めて孫の笑顔待つ
人の死にふれ冬ざるゝ羅漢岩
荒屋 関 喜美子
年の坂越えて振り向き胸を撫で
年の花活けてうなずく己が道
七日町 青柳 キエ子
冬の旅見知らぬ町の人やさし
合掌に込める感謝や除夜の鐘
七日町 柴田 栖静
気配りや希望あけくる年の花
冬虹の空を縫ふたり鷺の群れ
羽場 坂本 徳太郎
悪天や長く切ない冬籠もり
理不尽が師走を駆ける十四日
上台 阿部 一步
初詣他県ナンバー多かりし
雪遊び孫に負けるも愛の中
七日町 村松 泰風
切れぎれに八十路語るや除夜の鐘
卒寿てふ齢いたゞく初御空
悼 斯道の先人へ捧ぐ
をんをんと御霊おくりぬ除夜の鐘

かねやま紅風会